

# アクティブチューニング・アンテナシステム

## ATAS-120

### 取扱説明書



#### ATAS-120 をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

お買い上げ頂きました“ATAS-120”は、当社の外部アンテナコントロール機能付きトランシーバーと組み合わせることで、追加コイルなどのオプション無しで HF 帯から UHF 帯までのアマチュアバンド (7/14/21/28(29)/50/144/430MHz) で運用することが可能なマルチバンド型のオートチューニング・アンテナです。

HF 帯においては、新開発のアクティブチューニング機構により、無線機からのコントロール信号により自動的に同調を取ることができますので、煩わしいタップの切換操作やエレメントの交換作業なども不要です。

なお、使用できるトランシーバーはカタログ等でご確認ください。また、詳しい操作方法は、トランシーバーの取扱説明書をご覧ください。

#### 組立・取付方法

1. 右下の図面を参考に、付属の六角レンチを使用してアンテナ本体にエレメントを付属のビスで取り付けます。
2. M型接栓のアンテナ基台に ATAS-120 をしっかりと取り付けます。

#### ⚠ 組立・取付時の注意事項 ⚠

- ATAS-120 はトランクリッドまたはハッチバックへ設置することを前提に開発しております。ハッチバックに取り付ける場合は、ハッチゲートと ATAS-120 が極端に接近しないよう取り付けてください。(アンテナ基台の一例：第一電波工業株式会社(DIAMOND)製の TE5M, K400)
- ATAS-120 にはアースが必要です。良好なアースが取れるよう、アンテナ基台は確実に車のボディに接地してください。
- ATAS-120 の取り付けは、安全運転の妨げにならないよう十分注意してください。
- 走行中の振動や風圧などで車体にダメージを与えたりしないよう、アンテナ基台の取付場所には十分に注意してください。
- 走行中の振動や風圧などで倒れたりしないよう、アンテナ基台の強度と取付場所の取付強度を十分に確認した上で取り付けてください。
- 走行中の振動や風圧などでゆるまないよう、アンテナ基台の取付ネジや取付ナットなどは、しっかりと締め付けてください。
- マグネット型の基台は、ご使用にならないでください。
- 走行前には、アンテナ基台の取付ネジや取付ナットなどにゆるみがないか、必ず確認してください。また、アンテナ基台の強度と取付場所の取付強度が十分であるか、必ず確認してください。
- アンテナ基台の取付ネジや取付ナットなどは、定期的に増し締めを行ってください。
- 設置場所や周囲の状況によっては十分に SWR が下らない場合があります。

#### 使用上のご注意

- ATAS-120 の内部には精密機器が入っていますので、乱暴に扱わないでください。
- 走行中はチューニング操作を行わないでください。
- 送信中や送信直後には、アンテナ本体が高温になることがありますので、絶対に触れないでください。ヤケドなどをする場合があります。
- 定格値を超える送信電力を加えたり、定格範囲以外の周波数で送信することは故障の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- 内部に水が浸入する恐れがありますので、洗車時には外してください。
- アンテナ本体の先端部分(エレメントを取り付ける部分)を、無理にまわさないでください。アンテナ本体の内部でアンテナ線が断線し、故障の原因になります。
- 50MHz 帯～430MHz 帯を固定で簡易運用する場合は、オプションのラジアルキット ATBK-100 をご使用ください。また、HF から 430MHz まで運用したい場合は、量 1 枚程度の大きさの金属板(金網構造のものやパンチングメタル板など、電気を通す素材のもの)を利用すると効果があります。

#### 定格

周波数：7/14/21/28(29)/50/144/430MHz

全長：約 1.6m(最大伸張時)～約 1.4m(最小収縮時)

重量：約 900g

インピーダンス：50 Ω (M 型接栓)

最大入力電力：120W : A3J / 100W : 28(29), 50MHz F3 / 50W : 144, 430MHz F3

VSWR：2.0 以下

デザインおよび定格は、改善のため予告なく変更する場合があります。

製造元・株式会社バーテックススタンダード

〒153-8644 東京都目黒区中目黒 4-8-8

200312

